

【施策16】 文化・交流

～人をひきつける魅力があふれるまち～

- ◆展開方向01 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高めます。
- ◆展開方向02 まちの魅力を積極的に発信し、良好な都市イメージを創造します。
- ◆展開方向03 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人との交流を促進します。

| | | |
|--------|---------------------------------|-----|
| 展開方向01 | 1 シティプロモーション推進事業費(ひと咲きまち咲き担当局分) | 143 |
| | 2 シティプロモーション推進事業費(秘書室分) | 145 |
| | 3 尼崎市総合文化センター補助金等 | 147 |
| | 4 文化団体育成補助金 | 149 |
| | 5 (仮称)文化振興ビジョン策定事業費 | 151 |
| 展開方向02 | 1 定住・転入促進情報発信サイト事業費 | 153 |
| 展開方向03 | 1 姉妹都市アウクスブルク市交流関係事業費 | 155 |
| | 2 姉妹都市100周年記念交流事業費 | 157 |
| | 3 友好都市鞍山市交流関係事業費 | 159 |
| | 4 国際交流事業補助金 | 161 |
| | 5 まち情報発信事業費 | 163 |

(このページは白紙です)

平成29年度 事務事業シート（平成28年度決算）

| | | | | |
|--------|-----------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | シティプロモーション推進事業費 | 1930 | 事業分類 | ソフト事業 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | — | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 平成25年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 60 企画費 |

| | | | |
|---------|---|---|----------------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション事業担当 |
| 所属長名 | 松長 昌男 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|--|
| 事業実施趣旨 | 本市は、過去の公害をはじめ、治安やマナーの悪さなどを背景に「マイナスイメージ」が先行している。そこで、本市並びに他都市の市民・事業者に対し、本市の魅力や的確に伝え、イメージの向上を図り、まちの価値を高めていくシティプロモーションに取り組む。 |
| 対象（誰を・何を） | 市民・事業者・行政・市外在住者 |
| 求める成果（どのような状態にしたいか） | 市内外に尼崎を好きな人を増やすため、「あまらぶ※」な人や「あまらぶ」な人を増やすための物・事・情報がまちにあふれている状態 ※「あまらぶ」＝「尼崎を好きなこと」 |
| 事業概要 | まちの魅力を増進し、戦略的・効果的に発信するため、本市の魅力や地域資源を活用しながら、若い人の夢やチャレンジを応援することを目的とした事業を行う。※平成29年度から、「シティプロモーション推進事業費」のうち、「まるっとアマガサキ発行事業費」が秘書室所管となった。 |
| 実施内容 | <p>1 ティーンズサポートチケットPR事業 若い世代の育成のため、総合文化センター等が実施する公演等を若年層が500円で鑑賞できる「ティーンズサポートチケット」のPRを行った。平成28年度は134人の応募があった。</p> <p>2 尼崎落研選手権 本市には多くのお笑いタレント、落語家が在住し、地域寄席が市内各地で開催されていることから、「お笑い」「落語」も地域資源の一つであると捉え、近松記念館を活用して「尼崎落研選手権」を開催し、170人の来場があった。参加大学は11大学（大阪大、大谷大、岡山大、関西大、関学大、京都大、京産大、京女大、神戸大、立命大、龍谷大）となった。</p> <p>3 あまらぶアートラボ運営事業 旧小田公民館城北分館を活用し、若手アーティストの発表・創作の場として若い人の夢やチャレンジを応援するという本市の取り組みを発信する。展覧会5回、ワークショップ5回、トークライブ5回を開催し3,019人が参加した。</p> |

②事業費

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|-----------|--------|--------|------------|--------------------|
| 事業費 A | 5,876 | 5,153 | 6,392 | |
| 報償費 | 1,523 | 2,358 | 2,806 | アートラボ展示会開催・アドバイザー等 |
| 需用費 | 2,086 | 2,051 | 2,345 | アートラボ電気代・水道代等 |
| 委託料 | 637 | 560 | 1,033 | アートラボ物件費 |
| 使用料及び賃借料 | 94 | 99 | 118 | |
| その他 | 1,536 | 85 | 90 | |
| 人件費 B | 19,487 | 20,235 | 13,778 | |
| 職員人工数 | 2.33 | 2.53 | 1.63 | |
| 職員人件費 | 18,465 | 20,235 | 12,925 | |
| 嘱託等人件費 | 1,022 | 0 | 853 | |
| 合計 C(A+B) | 25,363 | 25,388 | 20,170 | |
| C 国庫支出金 | 410 | | | |
| 県支出金 | 750 | | 223 | |
| 市債 | | 200 | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 24,203 | 25,188 | 19,947 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|-------|------|------|------|---|------|-------|------|-------|
| 評価指標 | あまらぶアートラボ参加者数 | | | | | | 単位 | 人 | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 3,000 | 達成年度 | 29年度 | 26年度 | — | 27年度 | 1,708 | 28年度 | 3,019 |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 平成27年度にアートラボを開設し、平成28年度に目標値を達成したが、今後もPRIに努めるなど参加者数の増加に向けた取り組みを進める必要がある。 | | | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 本市では、平成25年2月に策定した「尼崎版シティプロモーション推進指針」に基づき、まちの魅力を増進し、戦略的・効果的に発信することで交流人口、活動人口を増やし、子育てファミリー層を中心とした定住人口の増につなげていく取り組みを全庁的に実施している。本事業においては地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成を目的に、尼崎落研選手権の開催、あまらぶアートラボの運営などに取り組み、まちの魅力や本市が若い人の夢やチャレンジを応援するまちであるというメッセージを発信している。今後も様々な事業を通じて交流人口、活動人口を増やし、定住人口の増を目指して活動していくにあたり本事業が必要である。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | |
|----------------|---|
| 現状の受益負担見直しの必要性 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 本事業は、市が主体となってまちの魅力を広く知らしめるものであることから、受益者負担を求めることは適正ではない。 |
|----------------|---|

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|---|
| 他自治体及び国との基準比較 | 本市においては、地域資源の活用など特有の取組を行っている。なお、全国の自治体においても独自のシティプロモーションに取り組んでいる。(近隣市の一例) 神戸市 都市プロモーションサイト「KOBE live+work」開設、神戸開港150年記念事業 西宮市 シティプロモーションサイト「NISHINOMIYA COMMONS」、まちたびにのみや 三田市 サンタ×三田プロジェクト |
|---------------|---|

⑦担い手の点検

| | | |
|---------|---|--|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無 | 事業の持続可能性を主眼にして検討し、条件・手法が整えば委託等の可能性がある。 |
| 委託等の可能性 | | |
| 協働の領域 | 市民の領域 ↔ 行政の領域 A B C D E 現状 将来像 | 内容 現在も一部では各種団体と連携しながら事業を進めているが、将来的にはその範囲や対象をさらに広げていくことを視野に入れる。 |

⑧総合評価

| | | |
|------|----|---|
| 総合評価 | 改善 | まちのイメージを向上させるためには、まちの持つ魅力を増進し、戦略的・効果的に、さらには継続的に発信する必要がある。 |
|------|----|---|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|--|
| 今後の改善策 | ティーンズサポートチケット事業については公演メニューや申込み方法、周知方法を見直す。あまらぶアートラボ運営事業、尼崎落研選手権については、若い人の夢やチャレンジを応援するという方向性のもと、更なるPR方法などを検討していくとともに、尼崎城の再建に伴い、新たな事業の展開を検討していく。 |
|--------|--|

平成29年度 事務事業シート（平成28年度決算）

| | | | | |
|--------|-----------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | シティプロモーション推進事業費 | 1930 | 事業分類 | ソフト事業 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | — | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 平成25年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 60 企画費 |

| | | | |
|---------|---|---|---------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 | | |
| 局 | 秘書室 | 課 | 発信・報道担当 |
| 所属長名 | 井上 潤一 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|--|
| 事業実施趣旨 | 各課が行っている事業を、各課が独自の方法で個別に情報発信している現状では、市民に対するPR効果が限定的になるため、事業内容や時期、対象者等が共通するテーマを取り上げ、情報をまとめた季刊誌「まるっとアマガサキ」を作成し、市民に対して戦略的なPRを行っていく。 |
| 対象（誰を・何を） | 主に市民（夏休み・冬休み特集号は、主に小・中学生） |
| 求める成果（どのような状態にしたいか） | 事業を市民が認知し、各事業において、より多くの参加者があること。また、まるっとアマガサキを読むことにより、市民の尼崎市に対するイメージが向上すること。 |
| 事業概要 | まるっとアマガサキの発行 年3回 ※平成29年度から、「シティプロモーション推進事業費」のうち、「まるっとアマガサキ発行事業費」が秘書室所管となった。 |
| 実施内容 | 市民に対する事業のPR効果を高めるため、全庁横断でPRを展開するのに適したテーマを取り上げ、各事業の情報を取りまとめた「まるっとアマガサキ」を発行する。 (発行物) 年3回発行。「夏休み特集号」「秋祭り特集号」「冬休み特集号」 (対象) 主に小・中学生（秋祭り特集号は市民） (実績) 合計73,540部 |

②事業費

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|-----------|--------|--------|------------|----------------|
| 事業費 A | 619 | 517 | 489 | |
| 需用費 | 524 | 517 | 489 | まるっとアマガサキ印刷製本費 |
| 使用料及び賃借料 | 95 | | | アディ賃出 |
| 人件費 B | 793 | 800 | 795 | |
| 職員人工数 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | |
| 職員人件費 | 793 | 800 | 795 | |
| 嘱託等人件費 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 C(A+B) | 1,412 | 1,317 | 1,284 | |
| Cの財源内訳 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 1,412 | 1,317 | 1,284 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|---|------|---|----|------|--------|------|--------|------|--------|
| 評価指標 | 年間の発行部数(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定) | | | | | | 単位 | 部 | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | — | 達成年度 | — | 年度 | 26年度 | 77,000 | 27年度 | 76,500 | 28年度 | 73,540 |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 市ホームページの動的コンテンツなどを通じ、同事業の周知を図っていく。 | | | | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 夏休み特集号と冬休み特集号は、市内小・中学校で配布しており、事業の対象者に直接情報が届く面において、非常に有効な手段であり、必要性は高い。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | |
|-----------------|---|
| 現在の受益者負担見直しの必要性 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 本事業は、イベント情報などを提供するものであり、受益者負担を求めることは適正ではない。 |
|-----------------|---|

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|--|
| 他自治体及び国との基準比較 | 阪神間で類似事業なし ※西宮市(にしのみや観光協会発行)では、夏休みのイベント・講座情報をまとめたパンフレット「みやたんとなつやすみ」を作成。 |
|---------------|--|

⑦担い手の点検

| | | |
|---------|--|--|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無 | 印刷業務については既の実施している。現在、業務委託していない業務について、外部委託可能かどうか検討の余地はある。 |
| 委託等の可能性 | | |
| 協働の領域 | 市民の領域 ↔ 行政の領域 A B C D E 現状 将来像 | 一部業務については、現在、民間委託をしており、今後も委託する予定である。 |

⑧総合評価

| | | |
|------|----|--|
| 総合評価 | 維持 | 事業の対象者に直接情報が届き、事業の周知が図れるという面において、まるっとアマガサキは有効な手段の一つとなっていることから、今後も事業を継続することが適当であると考えます。 |
|------|----|--|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|----------------------------|
| 今後の改善策 | より読みやすい「まるっとアマガサキ」づくりに努める。 |
|--------|----------------------------|

平成29年度 事務事業シート (平成28年度決算)

| | | | | |
|--------|-----------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | 尼崎市総合文化センター補助金等 | 1F1A | 事業分類 | 補助金・助成金 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | 尼崎市文化ビジョン | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 昭和49年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 63 文化振興費 |

| | | | |
|---------|---|---|------------------------------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション推進課、シティプロモーション事業担当 |
| 所属長名 | 藤川 明美、松長 昌男 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|--|
| 事業実施趣旨 | 市民文化活動の拠点施設として、優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、尼崎市総合文化センターに対し、補助金を交付する。なお、平成28年度の耐震診断において、改修の必要ありとの診断になっていることから、耐震化対策について協議していく。 |
| 対象(誰を・何を) | 市民・来訪者 |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | 継続的・安定的な経営ができているとともに、市民に低廉で、良質な文化芸術に触れる機会を提供することで、市民が文化芸術に親しんでいる状態。 |
| 事業概要 | 本市文化振興の中核として、尼崎市総合文化センターに補助金を交付し、文化の向上発展を図る。 |
| 実施内容 | <p>優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、以下の事業を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運営事業費補助(財団職員人件費・ホール管理費・文化事業費(美術展、団体育成)) 財団の管理運営にかかる経費の一部を補助することにより、継続的・安定的な経営を図る。 2 文化振興事業(市展・ふれあいギャラリー・文芸祭・市民芸術賞・文化功労賞・富松新能・尼崎新能・演劇祭・新人お笑い大賞・歌舞伎公演) 3 郷土画家「白髪一雄」作品発信事業 作品を広く一般に公開するとともに市内の小学校および幼稚園を対象にアウトリーチ事業の実施。 4 ちかまつ等関係事業(近松ナウ・近松祭) 「近松ナウ」、「近松祭」を実施し、「近松のまち・あまがさき」のPR。 5 施設整備 利用者及び財団職員の安全を確保するとともに、事故の未然防止、事業の円滑な実施のため、施設の耐震診断の実施。 6 市制100周年事業 第6回「近松賞」受賞作品「砂壁の部屋」の上演、NHK全国放送公開番組「歌う! SHOW学校」の公開収録、ミュージカル「忍たま乱太郎」第7弾の上演 |

②事業費

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|------------|---------|---------|------------|--------------|
| 事業費 A | 341,483 | 317,672 | 311,096 | |
| 負担金補助及び交付金 | 340,874 | 317,081 | 310,522 | |
| 委託料 | 609 | 591 | 574 | |
| 人件費 B | 2,219 | 3,359 | 10,075 | |
| 職員人工数 | 0.28 | 0.42 | 1.27 | |
| 職員人件費 | 2,219 | 3,359 | 10,075 | |
| 嘱託等人件費 | | | | |
| 合計 C(A+B) | 343,702 | 321,031 | 321,171 | |
| C 国庫支出金 | 18,216 | | | 文化芸術振興費補助金 |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | 3,931 | 1,879 | 8,101 | 市町村振興協会市町交付金 |
| 一般財源 | 321,555 | 319,152 | 313,070 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|---------|------|------|------|---------|------|---------|------|---------|
| 評価指標 | 尼崎市総合文化センター入場者数(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定) | | | | | | | | 単位 | 人 |
| 目標・実績 | 目標値 | 450,000 | 達成年度 | 29年度 | 26年度 | 386,000 | 27年度 | 397,000 | 28年度 | 387,000 |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input checked="" type="checkbox"/> 下回った 平成27年度と比較して、自主事業の大ホール事業は約8,200人、中ホール事業は1,600人の増加となっているものの、貸館を含めた大・中・ミニホールの入場者が減少している。 | | | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 市民に低廉で、良質な文化芸術に触れる機会を提供するという社会的ニーズは高く、財団に対する支援は必要であり、市民に文化芸術に親しんでいただくことを通じて、地域文化を振興していくために補助金が有効に活用されていると考える。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | |
|----------|---|
| 現在の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 見直しの必要性 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|--|
| 他自治体及び国との基準比較 | (平成28年度決算額) 西宮市:西宮市文化振興財団 41,313千円 川西市:川西文化スポーツ振興財団 163,254千円 伊丹市:いたみ文化・スポーツ財団 45,476千円 ※宝塚市・三田市は指定管理者制度導入のため、芦屋市・猪名川町・篠山市は該当団体がいないため補助金の支出をしていない。 |
|---------------|--|

⑦担い手の点検

| | | | | | |
|---------|--|---|---|---|----|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無 | | | | |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無 尼崎市民芸術賞および尼崎文化功労賞の表彰事業について、より効果的・効率的な運営のために、平成26年度より委託事業としている。 | | | | |
| 協働の領域 | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | 内容 |
| | A | B | C | D | |
| 現状 | | | | | ● |
| 将来像 | | | | | ○ |

⑧総合評価

| | | |
|------|----|--|
| 総合評価 | 改善 | 尼崎市総合文化センターに対しては、市民だけでなく市外の人もより利用しやすいようニーズの把握に努めたうえで、優れた文化芸術に親しむ機会を提供することで、入場者数、稼働率の増を図っていく。 平成28年度に策定した文化ビジョンでは尼崎市総合文化センターを文化推進の中核と位置付けており、より効果的効率的な運営を目指し、施設の耐震化・老朽化の対応も含めた今後のあり方について、検討していく。 |
|------|----|--|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|--|
| 今後の改善策 | 施設の耐震化・老朽化の対応、センターの機能や指定管理者制度も視野に入れた運営方法、事業内容について、市と尼崎市総合文化センターの共同で検討していく。 |
|--------|--|

平成29年度 事務事業シート (平成28年度決算)

| | | | | |
|--------|-----------|------|------|----------|
| 事務事業名 | 文化団体育成補助金 | 1F1D | 事業分類 | 補助金・助成金 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | 尼崎市文化ビジョン | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 昭和40年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 63 文化振興費 |

| | | | |
|---------|---|---|----------------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション事業担当 |
| 所属長名 | 松長 昌男 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|--|
| 事業実施趣旨 | 多彩で創造的な文化活動を振興するためには、文化団体への活動支援を行う必要があることから、尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。 |
| 対象(誰を・何を) | 市民 |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | 市民による文化活動の促進が図られている状態。 |
| 事業概要 | 尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。 |
| 実施内容 | 市内で活動している文化団体19団体間の連携と協調を図るとともに、地域文化の向上を図るため、尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。 |

②事業費

(単位:千円)

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|------------|--------|--------|------------|----|
| 事業費 A | 85 | 74 | 74 | |
| 負担金補助及び交付金 | 85 | 74 | 74 | |
| 人件費 B | 170 | 344 | 171 | |
| 職員人工数 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 職員人件費 | 0 | 0 | 0 | |
| 嘱託等人件費 | 170 | 344 | 171 | |
| 合計 C(A+B) | 255 | 418 | 245 | |
| Cの財源内訳 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 255 | 418 | 245 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|----|--|-----|------|----|------|----|------|----|
| 評価指標 | 尼崎市文化団体協議会への加盟団体数(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定) | | | | | 単位 | 団体 | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 25 | 達成年度 | 毎年度 | 26年度 | 22 | 27年度 | 22 | 28年度 | 19 |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input checked="" type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った | | 会員の高齢化等により解散に追い込まれる団体もあるが、多種多様な文化活動を行っているそれぞれの組織が、文化団体協議会への加盟を通じて、連携や協調を図っている。 | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 市民による文化活動の促進を図るためには、その主体となっている文化団体への活動支援が必要である。また、文化団体自身が単に自立的な活動としてだけでなく、他団体との連携や協調を図りながら活動することで、市民の文化振興に寄与している。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | |
|----------|---|
| 現在の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 見直しの必要性 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|--|
| 他自治体及び国との基準比較 | 川西市:文化協会 2,250千円(平成27年度決算) 三田市:文化協会 1,576千円(別途加入団体の事業に対し最大600千円の補助有/平成27年度決算・周年事業有り) 猪名川町:文化協会 250千円(平成27年度決算) 篠山市:文化協会 758千円(平成27年度決算) ※西宮市・芦屋市・伊丹市は該当団体なし。宝塚市は文化連盟・文化団体連絡協議会が存在するが、何れの団体にも補助金を支出していない。 |
|---------------|--|

⑦担い手の点検

| | | | | | | |
|---------|--|---|---|---|---|-------------------|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無 | | | | | 補助金事業は、市で行う事業である。 |
| 委託等の可能性 | | | | | | |
| 協働の領域 | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | 内容 |
| 現状 | A | B | C | D | E | 補助金事業は、市で行う事業である。 |
| 将来像 | | | | | | |

⑧総合評価

| | | |
|------|----|---|
| 総合評価 | 維持 | ジャンルの異なる各種文化団体が協調しつつ、創造的な文化活動を推進することは、市民の文化振興の面から大きな意義があることから、団体間の連携を図る同協議会を継続させていく必要がある。 |
|------|----|---|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 文化団体と市や尼崎市総合文化センター諸事業との連携や事務見直しについて検討する必要がある。 |
|--------|---|

平成29年度 事務事業シート（平成28年度決算）

| | | | | |
|--------|---------------------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | (仮称)文化振興ビジョン策定事業費 | IF14 | 事業分類 | その他 |
| 根拠法令 | 文化芸術振興基本法、劇場、音楽の活性化に関する法律 | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | 尼崎市文化ビジョン | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 平成27年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 63 文化振興費 |

| | | | |
|---------|---|---|---------------|
| 施策の展開方向 | (16-1) 地域資源の活用や文化芸術活動の振興と担い手の育成によって、まちの魅力と活力を高める。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション推進課 |
| 所属長名 | 藤川 明美 | | |

①事業概要

| | |
|-------------------------|---|
| 事業実施趣旨 | 本市の文化を学び発信する取組を推進するため、本市の文化行政の指針となる「尼崎市文化ビジョン」を策定する。 |
| 対象 (誰を・何を) | 市民・事業者・行政 |
| 求める成果 (どのような状態にしたいか) | 本市の文化行政の指針となる「尼崎市文化ビジョン」が策定されるとともに、その策定プロセスを通じて、市民や行政、関係団体等によって、文化に関する理解を共有し、新たなビジョンを基にした施策を推し進めていくことができる状態。 |
| 事業概要 | 尼崎市文化ビジョン会議において有識者等から広く意見を求めるとともに、庁内検討会議において内容に関する検討等を行い、「尼崎市文化ビジョン」を策定する。また、市民意識調査の実施やワークショップ・フォーラムの開催により、市民意見を取り入れたビジョンとするとともに、文化の大切さを考え、文化の力を活かしたまちづくりにつなげていく気運を醸成する。 |
| 実施内容 | 以下の取組を経て、様々な意見を集約し、平成29年2月に「尼崎市文化ビジョン」を策定した。 1 尼崎市文化ビジョン会議 ・委員9名 ・6回開催(平成28年7月～12月) 2 尼崎市文化ビジョン庁内検討会議 ・委員19名 ・4回開催(平成28年8月～12月) 3 文化に関する市民意識調査 ・15歳以上の市民3,000人を対象に実施。回答者1,280人、回収率42.6% 4 ワークショップ ・5回実施(平成28年8月～12月) ・のべ参加者63人 5 フォーラム ・平成29年3月21日開催 ・参加者計81人 |

(このページは白紙です)

②事業費

(単位:千円)

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|-----------|--------|--------|------------|-------------------|
| 事業費 A | 1 | 8,038 | 0 | |
| 委託料 | | 7,000 | | ビジョン策定支援業務委託 |
| 報償費 | | 826 | | 委員・フォーラム講演者等謝礼 |
| 使用料及び賃借料 | 1 | 89 | | ビジョン会議・フォーラム会場使用料 |
| 需用費 | | 69 | | |
| 旅費 | | 54 | | |
| 人件費 B | 7,767 | 9,084 | 0 | |
| 職員人工数 | 0.98 | 1.11 | | |
| 職員人件費 | 7,767 | 8,878 | | |
| 嘱託等人件費 | 0 | 206 | | |
| 合計 C(A+B) | 7,768 | 17,122 | 0 | |
| C 国庫支出金 | | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 財源内訳 一般財源 | 7,768 | 17,122 | 0 | |

平成29年度 事務事業シート（平成28年度決算）

| | | | | |
|--------|-------------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | 定住・転入促進情報発信サイト事業費 | 1934 | 事業分類 | ソフト事業 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | — | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 平成28年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 60 企画費 |

| | | | |
|---------|--------------------------------------|---|---------------|
| 施策の展開方向 | (16-2) まちの魅力を積極的に発信し、良好な都市イメージを創造する。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション推進課 |
| 所属長名 | 藤川 明美 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|--|
| 事業実施趣旨 | 尼崎市の人口減少の原因として、治安マナーや学校教育、自然環境などに関する負のイメージが強いことから、充実した子育て、教育施策や防犯の取組などをわかりやすくサイトにまとめ、本市の魅力や暮らしやすさ等の情報を発信する。 |
| 対象（誰を・何を） | 市民・事業者・行政 |
| 求める成果（どのような状態にしたいか） | 本市の魅力や教育の取組の紹介だけでなく、「尼ノ民（尼崎市民）」が大切にするとする十の言葉を逆指名ワードとして掲げ、「尼崎っていいな」、「尼崎に住んでみたい」と閲覧者に思ってもらうことを狙いとす。 |
| 事業概要 | 尼崎市の暮らしやすさと居住地としての魅力、教育の取組などを分かりやすくまとめたサイト「尼ノ國（あまのくに）」を開設し、子育てファミリー世帯の定住・転入促進を図る。 |
| 実施内容 | 定住・転入促進情報発信サイト事業費 11,966千円（平成28年度） 定住・転入促進情報発信サイト「尼ノ國」を開設し、教育・子育てなどの情報をわかりやすくまとめて情報発信した。 平成28年度業務の概要は以下のとおり 1 企画 サイト名・コーナー名、全体構成・コンテンツ、サイトのPR方法、閲覧ビュー数の継続的向上に向けての工夫 2 構築業務 ソフトウェアの調達、コンテンツ・マネジメント・システム（CMS）の設計・開発・構築、デザインの設計・構築、コンテンツの企画・撮影・取材・原稿製作、運営マニュアルの構築、レンタルサーバーの提供、当該システムの操作教育の実施 3 保守運営業務 サイトの構築期間中及びサイト構築後における運営保守、ページ更新、レンタルサーバーの提供、アクセス解析レポートの作成 |

②事業費

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|-----------|--------|--------|------------|-------------|
| 事業費 A | 0 | 11,966 | 2,626 | |
| 需用費 | | | | |
| 委託料 | | 11,966 | 2,626 | 尼ノ國サイト構築事業費 |
| 需用費 | | | | |
| 繰出金 | | | | |
| その他 | | | | |
| 人件費 B | 0 | 3,119 | 2,227 | |
| 職員人工数 | | 0.40 | 0.28 | |
| 職員人件費 | | 3,119 | 2,227 | |
| 嘱託等件費 | | | | |
| 合計 C(A+B) | 0 | 15,085 | 4,853 | |
| C 国庫支出金 | | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 0 | 15,085 | 4,853 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|--------|------|------|------|---|------|---|------|--------|
| 評価指標 | 尼ノ國サイトページビュー数(月平均) | | | | | | | | 単位 | 回 |
| 目標・実績 | 目標値 | 17,000 | 達成年度 | 31年度 | 26年度 | — | 27年度 | — | 28年度 | 19,211 |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 平成29年3月にサイトが完成し、運用を開始した。初回の一ヶ月間は新しい事業ということもあり閲覧が集中したが、5月以降は閲覧数が伸び悩んでいるため、サイトの更新を効果的に行い、引き続きサイトページビュー数を維持、さらには増加させていく。 | | | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | 本市では、夫婦2人世帯は転入超過、子供がいる世帯は転出超過となっているため、総合戦略でも取り組むべき政策分野の一つ、「シビックプライドの醸成」を軸に、ファミリー世帯の定住・転入促進を目的とするもの。就学前の子供がいる世帯層をターゲットに、「学び」と「育ち」の部分と、「都市魅力」の部分を中心に押し出し、「住みやすい尼崎」をアピールすることで、定住・転入を促進する。 |
|---------|--|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | |
|-----------------|--|
| 現状の受益者負担見直しの必要性 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 本事業は、市が主体となって取り組むものであることから、受益者負担を求めることは適正ではない。 |
|-----------------|--|

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|---|
| 他自治体及び国との基準比較 | 【観光・シティプロモーション・定住促進などがテーマのサイト】 神戸市都市プロモーションサイト「KOBELive+work」、西宮市シティプロモーションポータルサイト「CITY NISHINOMIYA COMMONS」、伊丹市「住みたいまち伊丹」、宝塚市シティプロモーションサイト「たからづかな生活」、川西市シティプロモーションサイト「幸福沿線 川西市」、高槻市定住促進・特設サイト「どっちもたかつき」 |
|---------------|---|

⑦担い手の点検

| | | |
|---------|--|--|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無 | サイトの構築、更新、保守及び改修作業をすでに委託しており、その他の業務について委託する可能性はない。 |
| 委託等の可能性 | | |
| 協働の領域 | 市民の領域 ↔ 行政の領域 A B C D E 現状 将来像 | 内容 引き続き、市民等と連携しながら事業を進めていく。 |

⑧総合評価

| | |
|------|---|
| 総合評価 | 拡充 サイトを一部改修し、新着情報の表示や、尼崎城の情報を発信するコンテンツを追加したところであるが、ターゲット層の定住・転入促進のためには、まちの持つ魅力を戦略的・効果的に、さらには継続的に発信する必要がある。 |
|------|---|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|---|
| 今後の改善策 | より効果的な周知方法により、本事業を広く知らしめる必要がある。また、新規閲覧だけでなく、尼ノ國サイトを定期的に関覧してもらえよう、内容の検討を重ね、教育等の重点課題への取組について映像コンテンツを充実させてPRするほか、尼崎城築城についても随時情報発信する等、さらに本市の魅力を伝えるコンテンツを提供していく。 |
|--------|---|

平成29年度 事務事業シート (平成28年度決算)

| | | | | |
|--------|---------------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | 姉妹都市アウクスブルク市交流関係事業費 | 102F | 事業分類 | ソフト事業 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | — | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 昭和34年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 05 一般管理費 |

| | | | |
|---------|---|---|----------------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション事業担当 |
| 所属長名 | 松長 昌男 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|---|
| 事業実施趣旨 | 提携趣旨である文化・産業等の交流を図ることで、市民生活の向上や国際親善の増進への寄与を目指し、事業を実施している。なお、両市民による直接・間接の交流機会の提供が課題であり、厳しい財政状況のなか、交流事業を継続して実施していくために、両市間で協議を進める必要がある。 |
| 対象(誰を・何を) | 市民及びアウクスブルク市民 |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | 国際感覚を身につけた次世代の交流の担い手となる青年が交流事業に参加し、将来の交流と相互理解に向けた事業が継続して行われている状態。 |
| 事業概要 | アウクスブルク市からの訪問者及び訪問団を受け入れ、表敬訪問、各界関係団体との交流、市内・近隣都市視察、市民交流会等を実施する。一方、本市からも訪問団を派遣し、表敬訪問、各界関係団体との交流や視察等を行う。また、青年使節団については、相互に派遣・受入し、市民交流、青年交流、ホームステイによる交流、市内・近郊都市視察等を行う。 |
| 実施内容 | <p>尼崎市青年使節団派遣事業1,045千円</p> <p>1 尼崎市青年使節団の派遣</p> <p>尼崎市青年使節団の派遣を通じ、姉妹都市の青年同士の交流を深め、本市の青年の国際的視野の拡大を図るとともに、将来にわたる両市の交流を促進する。</p> <p>日程：平成28年8月21日(日)～平成28年8月30日(火)9泊10日(内、アウクスブルク市滞在8月22日(月)～8月29日(月)7泊8日)</p> <p>人数：10人(団長・副団長各1人(本市職員)、団員8人)</p> <p>宿泊：ホテル(団長・副団長)、アウクスブルク市内ホームステイ(団員)</p> <p>視察先：バイオマスエネルギー施設、フッゲライ(世界最古の福祉住居施設)、アウクスブルク大学、市立図書館、市立マーケット、尼崎通、ディーゼル記念石庭苑、日本庭園、カヌーオリンピック競技場、FCアウクスブルクサッカースタジアム、ダッハウ強制収容所跡等</p> <p>その他：市表敬訪問、歓迎昼食会、送別会、青年使節団交流会等</p> |

②事業費

(単位：千円)

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|------------|--------|--------|------------|----------|
| 事業費 A | 824 | 1,045 | 1,520 | |
| 負担金補助及び交付金 | 0 | 565 | 0 | 団員旅行費助成 |
| 旅費 | 53 | 417 | 63 | 随行旅費 |
| 報償費 | 82 | 54 | 180 | 記念品等 |
| 使用料及び賃借料 | 145 | 7 | 291 | 高速道路使用料等 |
| その他 | 544 | 2 | 986 | |
| 人件費 B | 931 | 1,032 | 512 | |
| 職員人工数 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | |
| 職員人件費 | 79 | 0 | 0 | |
| 嘱託等人件費 | 852 | 1,032 | 512 | |
| 合計 C(A+B) | 1,755 | 2,077 | 2,032 | |
| C 国庫支出金 | | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 1,755 | 2,077 | 2,032 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|----|------|------|------|---------|------|---------|------|---------|
| 評価指標 | 事業に係る1次交流(両市の派遣・受入に関わる人数)。括弧内は2次交流(間接的に事業に関わった人数)。成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定。 | | | | | 単位 | 人 | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 10 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 16(332) | 27年度 | 12(197) | 28年度 | 10(142) |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input type="checkbox"/> (概ね)達成 <input checked="" type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った | | | | | | | | | |
| ④ | 青年使節団使節団派遣における目標はほぼ達成しているが、2次交流の広がりについて検討する余地がある。 | | | | | | | | | |

| | |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 本市と姉妹都市アウクスブルク市との間で結ばれた都市提携に基づく交流であり、市民の国際感覚の涵養やまちの魅力創造・活性化に資することから、友好交流を継続する必要がある。こうした中で、交流事業の実施にあたって、効果的・効率的な執行について検討を進めていく必要がある。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | | |
|-----------------|--|-----------------------------------|
| 現在の受益者負担見ししの必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 青年使節団使節団派遣における旅費の1/2を団員自身が負担している。 |
|-----------------|--|-----------------------------------|

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|--|
| 他自治体及び国との基準比較 | 近隣府県におけるドイツの都市と友好都市提携している自治体：大津市、長浜市、京都市、大阪市、東大阪市、四條畷市 その他県下でドイツの都市と友好都市提携している自治体：兵庫県 阪神間の姉妹・友好都市提携数：西宮市 4(アメリカ、フランス、ブラジル、中国)、芦屋市 1(アメリカ)、伊丹市 2(ベルギー、中国)、宝塚市 2(アメリカ、オーストリア)、川西市 1(アメリカ)、三田市 3(オーストラリア、韓国、アメリカ)、篠山市 2(ギリシア、アメリカ)、猪名川町 1(オーストラリア) |
|---------------|--|

⑦担い手の点検

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--------------------------|---------------|---|---|--|--|--|---|---|---|---|---|----|--|--|---|--|--|-----|--|--|---|--|--|---|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 | 訪問団の結成・派遣については行政がすべきである。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委託等の可能性 | <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働の領域 | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ↔ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | | A | B | C | D | E | 現状 | | | ● | | | 将来像 | | | ○ | | | 市民交流・文化交流は関係機関との連携が重要であり、今後とも強固なものにしていく。一方、教育交流など、分野によっては行政が主体とならざるを得ないものもある。 |
| | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A | B | C | D | E | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現状 | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 将来像 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

⑧総合評価

| | | |
|------|----|--|
| 総合評価 | 改善 | アウクスブルク市との交流は日独最初の姉妹都市として伝統を引き継いでおり、国際親善の増進に寄与している。しかし今後も社会状況の変化にあわせた交流分野について、また効果的・効率的な交流事業のあり方について検討を行っていく必要がある。 |
|------|----|--|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 効果的かつ効率的な交流事業や市民への周知、また、青年使節団員が派遣後も本市の国際交流に活発に携わり市全体の国際交流に寄与することができるのかを含めて検討を行っていく。 |
|--------|---|

平成29年度 事務事業シート (平成28年度決算)

| | | | | |
|--------|------------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | 姉妹都市100周年記念交流事業費 | 102G | 事業分類 | ソフト事業 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | — | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 昭和34年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 05 一般管理費 |

| | | | |
|---------|---|---|----------------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション事業担当 |
| 所属長名 | 松長 昌男 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|---|
| 事業実施趣旨 | 市制100周年を迎えることを記念し、アウクスブルク市からの代表団を受け入れることで、両市の交流のさらなる発展につなげる。 |
| 対象(誰を・何を) | 市民及びアウクスブルク市民 |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | 将来の交流と相互理解に向けた事業が継続して行われている状態。 |
| 事業概要 | アウクスブルク市代表団6人を受け入れ、尼崎市市制100周年記念式典に出席するほか、市内の施設や企業、学校等の視察を行う。 |
| 実施内容 | アウクスブルク市代表団受入事業945千円 1 視察先: 消防署、つかしん、市立尼崎高校、(株)ヤンマー尼崎工場、あまらぶアートラボ、尼信博物館、寺町等 2 その他: 歓迎夕食会(市長、副市長、議長、副議長等出席)、尼崎市市制100周年記念式典出席、防災・スポーツ行政等について関係者と懇談等 |

②事業費

(単位:千円)

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|-----------|--------|--------|------------|--------------------------|
| 事業費 A | 0 | 945 | 0 | |
| 使用料及び賃借料 | | 485 | | 代表団宿泊費等 |
| 需用費 | | 293 | | 受入にかかる食糧費 |
| 役務費 | | 105 | | 通訳 |
| 報償費 | | 62 | | 記念品 |
| 人件費 B | 0 | 0 | 0 | |
| 職員人工数 | | | | |
| 職員人件費 | | | | 「姉妹都市アウクスブルク市交流関係事業費」に含む |
| 嘱託等人件費 | | | | |
| 合計 C(A+B) | 0 | 945 | 0 | |
| Cの財源内訳 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 0 | 945 | 0 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|---|--|---|----|------|---|------|---|------|---|
| 評価指標 | 事業に係る1次交流(両市の派遣・受入に関わる人数)。成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定。 | | | | | 単位 | 人 | | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | — | 達成年度 | — | 年度 | 26年度 | — | 27年度 | — | 28年度 | 6 |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った | | 記念式典出席、市民祭参加、市内視察、各界関係者との懇談等、代表団受入の目標は達成できた。 | | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 必要性・有効性 | 本市と姉妹都市アウクスブルク市との間で結ばれた都市提携に基づく交流である。 |
|---------|---------------------------------------|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | | |
|-----------------|--|-------------------------------|
| 現在の受益者負担見直しの必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | アウクスブルク市から日本への旅費はアウクスブルク市が負担。 |
|-----------------|--|-------------------------------|

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|---|
| 他自治体及び国との基準比較 | 近隣府県におけるドイツの都市と友好都市提携している自治体:大津市、長浜市、京都市、大阪市、東大阪市、四條畷市 その他県下でドイツの都市と友好都市提携している自治体:兵庫県 阪神間の姉妹・友好都市提携数:西宮市 4(アメリカ、フランス、ブラジル、中国)、芦屋市 1(アメリカ)、伊丹市 2(ベルギー、中国)、宝塚市 2(アメリカ、オーストリア)、川西市 1(アメリカ)、三田市 3(オーストラリア、韓国、アメリカ)、篠山市 2(ギリシア、アメリカ)、猪名川町 1(オーストラリア) |
|---------------|---|

⑦担い手の点検

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|---------------|---|---|--|--|----|--|---|---|---|---|---|----|--|--|---|--|--|--|-----|--|--|---|--|--|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委託等の可能性 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働の領域 | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ↔ 行政の領域</td> <td rowspan="2">内容</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">市民交流は関係機関との連携が重要であり、今後とも強固なものにしていく。一方、教育交流など、分野によっては行政が主体とならざるを得ないものもある。</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | 内容 | | A | B | C | D | E | 現状 | | | ● | | | 市民交流は関係機関との連携が重要であり、今後とも強固なものにしていく。一方、教育交流など、分野によっては行政が主体とならざるを得ないものもある。 | 将来像 | | | ○ | | |
| | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A | B | C | D | E | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現状 | | | ● | | | 市民交流は関係機関との連携が重要であり、今後とも強固なものにしていく。一方、教育交流など、分野によっては行政が主体とならざるを得ないものもある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 将来像 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

⑧総合評価

| | | |
|------|----|---|
| 総合評価 | 完了 | アウクスブルク市との交流は日独最初の姉妹都市として伝統を引き継いでおり、代表団を受け入れることで、両市の交流が促進できた。 |
|------|----|---|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|---|
| 今後の改善策 | — |
|--------|---|

平成29年度 事務事業シート（平成28年度決算）

| | | | | |
|--------|----------------|------|------|----------|
| 事務事業名 | 友好都市鞍山市交流関係事業費 | 102H | 事業分類 | ソフト事業 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | — | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 昭和57年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 05 一般管理費 |

| | | | |
|---------|---|---|----------------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション事業担当 |
| 所属長名 | 松長 昌男 | | |

①事業概要

| | |
|-------------------------|---|
| 事業実施趣旨 | 提携時の趣旨である「経済・科学技術・文化・教育・体育等の各分野の交流を通じ、両市民の相互理解と親善を深め、日中間の友好を促進する」ことを目的に実施している。なお、国家体制の違いや財政状況等により、交流面での制限が多いことから、幅広い交流を継続するために両市間の協議が必要である。 |
| 対象 (誰を・何を) | 市民及び鞍山市民 |
| 求める成果 (どのような状態にしたいか) | 鞍山市からの代表団を受け入れることで、市・市議会といった行政を中心に両市の相互理解及び友好関係が深まっているとともに、両市の小学生が交流に参画することで、小学生はもとより市民の中国に対する理解及び友好意識が高まっている状態。 |
| 事業概要 | 鞍山市からの訪問者及び訪問団を受け入れ、表敬訪問、各界関係団体との交流、市内・近隣都市視察、市民交流会等を実施する。一方、本市からも訪問団を派遣し、表敬訪問、各界関係団体との交流や視察等を行う。また、小学生による書画の交換交流を行う。 |
| 実施内容 | 1 鞍山市小学生代表団受入事業 214千円 平成25年度の友好都市提携30周年を機に、小学生代表団の相互派遣を行い友好を深める。 (平成28年6月2日～6月5日)表敬訪問、小学校での交流活動、市内視察等 2 鞍山市小学生書画交流事業費 30千円 友好都市と書画交流により、友好交流を深める。 ①あまがさきキューズモール(平成29年2月3日～2月9日) 来場者数:231,893人 ②本庁南館1階ロビー(平成29年3月2日～3月16日) 来場者数:3,366人 |

②事業費

(単位:千円)

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|------------|--------|--------|------------|---------|
| 事業費 A | 500 | 244 | 1,846 | |
| 使用料及び賃借料 | 7 | 66 | 608 | 受入時宿泊料等 |
| 報償費 | 54 | 60 | 144 | 記念品等 |
| 負担金補助及び交付金 | 252 | | 320 | |
| 旅費 | 174 | | 220 | |
| 需用費 | 13 | 118 | 554 | |
| 人件費 B | 931 | 1,032 | 512 | |
| 職員人工数 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | |
| 職員人件費 | 79 | 0 | 0 | |
| 嘱託等人件費 | 852 | 1,032 | 512 | |
| 合計 C(A+B) | 1,431 | 1,276 | 2,358 | |
| C 国庫支出金 | | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 1,431 | 1,276 | 2,358 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|-----|------|------|------|----------------|------|-----------------|------|------------------|
| 評価指標 | 事業に係る1次交流(両市の派遣・受入に関わる人数)。括弧内は2次交流(書画交流など間接的に事業に関わった人数)。成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定。 | | | | | | 単位 | 人 | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 100 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 109 (8,436) | 27年度 | 66 (253,517) | 28年度 | 447 (235,409) |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 鞍山市小学生代表団を受入れたため、交流人数は昨年度の尼崎市小学生代表団派遣時より増加。また小学生書画交流展については、今回もキューズモールを会場にしたほか、巡回展示を行い交流人数の拡大を図った。 | | | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | 本市と友好都市鞍山市との間で結ばれた都市提携に基づく交流であり、市民の国際感覚の涵養やまちの魅力創造・活性化に資することから、友好交流を継続する必要がある。こうした中で、交流事業の実施にあたって、効果的・効率的な執行について検討を進めていく必要がある。 |
|---------|--|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | | |
|-----------------|--|---|
| 現状の受益者負担見直しの必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 小学生書画交流事業については、書画制作にかかる費用は出品者自身が負担している。 |
|-----------------|--|---|

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|--|
| 他自治体及び国との基準比較 | 阪神間における中国の都市と友好都市提携している自治体:西宮市、伊丹市 その他県下で中国の都市と友好都市提携している自治体:兵庫県、神戸市、姫路市、明石市、多可町、播磨町 阪神間の姉妹・友好都市提携数:西宮市 4(アメリカ、フランス、ブラジル、中国)、芦屋市 1(アメリカ)、伊丹市 2(ベルギー、中国)、宝塚市 2(アメリカ、オーストリア)、川西市 1(アメリカ)、三田市 3(オーストラリア、韓国、アメリカ)、篠山市 2(ギリシア、アメリカ)、猪名川町 1(オーストラリア) |
|---------------|--|

⑦担い手の点検

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|------------------------|---------------|---|---|--|--|--|---|---|---|---|---|----|--|--|---|--|--|-----|--|--|---|--|--|---|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無 | 書画交流展示は平成26年度まで委託していた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委託等の可能性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働の領域 | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ↔ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | | A | B | C | D | E | 現状 | | | ● | | | 将来像 | | | ○ | | | 市民交流・経済交流は関係機関や企業等との連携が重要であり、今後とも強固なものにしていく。一方、教育交流など、分野によっては行政が主体とならざるを得ないものもある。 |
| | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A | B | C | D | E | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現状 | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 将来像 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

⑧総合評価

| | | |
|------|----|---|
| 総合評価 | 改善 | 平成21年度から実施している小学生書画交流は会場を工夫しながら実施している。小学生交流については、平成25年度の友好都市提携30周年を機に隔年で派遣・受入を実施しているが、両市の立場の違いから課題もあり、今後、効果的・効率的な交流事業のあり方について検討を行っていく必要がある。 |
|------|----|---|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 国際情勢等により、市民相互よりも行政が中心となる交流とならざるを得ない状況にあるとともに、従前と比較し、訪問団の往来も少なくなっている。こうした中、効果的かつ効率的な交流事業や市民への周知に向けた検討を行っていく。 |
|--------|---|

平成29年度 事務事業シート（平成28年度決算）

| | | | | |
|--------|-----------|------|------|----------|
| 事務事業名 | 国際交流事業補助金 | 102J | 事業分類 | 補助金・助成金 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | — | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 昭和56年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 05 一般管理費 |

| | | | |
|---------|---|---|----------------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 | | |
| 局 | ひと咲きまち咲き担当局 | 課 | シティプロモーション事業担当 |
| 所属長名 | 松長 昌男 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|---|
| 事業実施趣旨 | 市民レベルの国際親善や相互理解の促進を目的とした国際交流事業に対して補助金を交付し、市民主体の国際交流を促す。 |
| 対象(誰を・何を) | 国際交流事業を行う団体 |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | 姉妹・友好都市からの来訪者はもとより、在住外国人市民も含め、幅広く外国人との交流事業を市民団体が自主的に実施するとともに、姉妹都市・友好都市との交流を促進する事業等についても市民が主体となった国際交流が促進されている状態。 |
| 事業概要 | 本市の姉妹都市・友好都市をはじめとする諸外国との市民相互交流や市内在住外国人との交流事業等、市民レベルの国際親善や相互理解の促進を目的とした国際交流事業に対し、補助を行う。 |
| 実施内容 | <p>姉妹都市・友好都市その他諸外国の市民や団体及び在住の外国人市民との交流を行っている尼崎市国際交流協会に対して、事業補助を行った。</p> <p>事業内容 ・国際交流促進事業 (日本語講座、市内在住外国人との交流事業、ボランティア通訳・翻訳登録制度等) ・姉妹友好都市交流促進サロン運営事業 (牡丹会、ドイツクラブ) ・情報発信事業 (情報発信誌の発行、ホームページの運営)</p> |

②事業費

(単位:千円)

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|------------|--------|--------|------------|----|
| 事業費 A | 456 | 474 | 603 | |
| 負担金補助及び交付金 | 456 | 474 | 603 | |
| 人件費 B | 420 | 344 | 68 | |
| 職員人工数 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | |
| 職員人件費 | 79 | 0 | 0 | |
| 嘱託等人件費 | 341 | 344 | 68 | |
| 合計 C(A+B) | 876 | 818 | 671 | |
| C 国庫支出金 | | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 876 | 818 | 671 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|
| 評価指標 | 国際交流協会主催の交流イベントや諸外国との交流等の内、補助対象事業に関わる人数の合計(適切な成果指標の設定が困難なため、活動指標を設定) | | | | | 単位 | 人 | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 400 | 達成年度 | 28年度 | 26年度 | 356 | 27年度 | 482 | 28年度 | 468 |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った | | | | | | | | | |
| | 増減があるものの一定の参加数を確保しているが、今後も参加者の拡大に向けた取り組みを進める必要がある。 | | | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|--|
| 必要性・有効性 | 尼崎市国際交流協会は、市民と行政の協働による国際交流活動を展開しており、協働の実践例である。今後、市民主体の国際交流を一層促進していくため、補助金を交付しているものであり、これまで一定の効果があったものとする。しかしながら、社会情勢が変化中、国際交流や補助のあり方などについて見直し・検討を行っていく必要がある。 |
|---------|--|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | |
|----------|---|
| 現在の受益者負担 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 見直しの必要性 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|--|
| 他自治体及び国との基準比較 | 阪神間自治体の国際交流協会への補助金額(平成28年度予算ベース 単位:千円) 西宮市:18,314、芦屋市:19,726【指定管理料】、伊丹市:1,000【運営補助金】、 宝塚市:41,495【指定管理料】、川西市:350【事業奨励補助金】、 三田市:8,150【補助金・受託金】猪名川町:1,000、 篠山市:2,070【活動補助金】 ※西宮市は公益財団法人、芦屋市、宝塚市はNPO法人、本市及びその他は任意団体 |
|---------------|--|

⑦担い手の点検

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---|---------------|---|---|--|--|--|---|---|---|---|---|----|--|--|--|--|---|-----|--|--|--|--|---|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委託等の可能性 | <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 協働の領域 | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="5">市民の領域 ↔ 行政の領域</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>現状</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>将来像</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> | | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | | A | B | C | D | E | 現状 | | | | | ● | 将来像 | | | | | ○ |
| | 市民の領域 ↔ 行政の領域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A | B | C | D | E | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現状 | | | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 将来像 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 補助金事業は、市で行う事業である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

⑧総合評価

| | |
|------|---|
| 総合評価 | <p>改善</p> <p>長年、本市の国際交流の促進に努めている国際交流協会に補助を行うことで、市民主体の国際交流が進んでおり、一定の成果をあげていると考える。しかしながら、社会情勢が変化中、多文化共生に関する事業が中心になっていることなどから補助のあり方などについて見直し・検討を行っていく必要がある。</p> |
|------|---|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|---|
| 今後の改善策 | 補助対象の事業や経費の精査を行い、制度目的に合致した効果的・効率的な事業執行を推進していく。国際交流事業補助金の位置付けも含め、国際交流について、ダイバーシティ、インバウンドの観点からも今後の方向性を検討する。 |
|--------|---|

平成29年度 事務事業シート (平成28年度決算)

| | | | | |
|--------|-----------|------|------|----------|
| 事務事業名 | まち情報発信事業費 | 1932 | 事業分類 | ソフト事業 |
| 根拠法令 | — | | 会計 | 01 一般会計 |
| 個別計画 | — | | 款 | 10 総務費 |
| 事業開始年度 | 平成21年度 | | 項 | 05 総務管理費 |
| 施策 | 16 文化・交流 | | 目 | 60 企画費 |

| | | | |
|---------|---|---|----------------|
| 施策の展開方向 | (16-3) 地域に愛着と誇りを持つ市民を増やすとともに、市内外の人の交流を促進する。 | | |
| 局 | 企画財政局 | 課 | シティプロモーション事業担当 |
| 所属長名 | 松長 昌男 | | |

①事業概要

| | |
|---------------------|---|
| 事業実施趣旨 | 交流人口、活動人口、子育てファミリー世帯を中心とした人口(定住人口)の増を目指し、本市が持つ歴史や伝統、文化や産業などのまちの魅力を増進し、ホスピタリティを持って戦略的・効果的に発信する。 |
| 対象(誰を・何を) | 市民・来訪者等 |
| 求める成果(どのような状態にしたいか) | 市民がわがまちに対して愛着と誇りを持ち、商業界や産業界をはじめとした事業者や各種団体が、自主的に観光振興や交流人口拡大に向けた取組を行い、ホスピタリティあふれるまちとなるとともに、交流人口、活動人口、子育てファミリー世帯を中心とした人口(定住人口)が増加している状態。 |
| 事業概要 | あまらぶインフォメーション事業 JR尼崎駅構内に案内所を設置・運営することで、本市の魅力を発信する拠点とする。また、観光・集客事業により魅力を増進、ホームページやSNSツールにより魅力を戦略的・効果的に発信する。 |
| 実施内容 | あまらぶインフォメーション事業 ・案内所の運営 JR尼崎駅構内のあまがさき・魅力案内所「あまらぶi+Plus」で観光相談・案内や情報発信等を行った。来所者10,480人、電話・FAX・メール含む利用者計11,304人 ・Webコンテンツ、パンフレットラックの運営 尼崎観光交流サイト「あまらぶ」、Twitterによる情報発信、市内駅・ホテル等に設置のパンフレットラックの運営を行った。 ・観光・集客事業(あまらぶ体験隊 計75名参加) 第16弾 電車をみて、ふれて、楽しく学ぼう！ 阪神電車車両基地見学会 第17弾 あましんアルカイクホール見学会 第18弾 こだわリスポット対決 ・出張観光案内所の開設(4回開設) 日本計画行政学会(関西学院大学)、阪神尼崎駅(本興寺・虫干会 実施日)、2016ワールドちゃんぼんクラシック IN 尼崎(会場:ポートレース尼崎)、神戸ルミナリエ(神戸市:東遊園地) |

②事業費

| | 27年度決算 | 28年度決算 | (参考)29年度予算 | 備考 |
|-----------|--------|--------|------------|--------------------|
| 事業費 A | 22,006 | 18,236 | 17,778 | |
| 需用費 | 732 | 62 | 61 | |
| 委託料 | 16,291 | 17,678 | 16,862 | あまらぶインフォメーション事業委託料 |
| 使用料及び賃借料 | 361 | 414 | 450 | JR尼崎駅案内所賃借料等 |
| 工事請負費 | 961 | 0 | 0 | |
| その他 | 3,661 | 82 | 405 | |
| 人件費 B | 8,355 | 8,595 | 3,977 | |
| 職員人工数 | 1.05 | 0.98 | 0.50 | |
| 職員人件費 | 8,321 | 7,838 | 3,977 | |
| 嘱託等人件費 | 34 | 757 | | |
| 合計 C(A+B) | 30,361 | 26,831 | 21,755 | |
| Cの財源内訳 | | | | |
| 国庫支出金 | 5,220 | | | |
| 県支出金 | | | | |
| 市債 | | | | |
| その他 | | | | |
| 一般財源 | 25,141 | 26,831 | 21,755 | |

③事業成果の点検 ※ハード事業については進捗管理

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-------|------|------|------|-------|------|-------|------|-------|
| 評価指標 | 観光客入込客数 | 単位 | 千人 | | | | | | | |
| 目標・実績 | 目標値 | 2,200 | 達成年度 | 29年度 | 26年度 | 2,110 | 27年度 | 2,312 | 28年度 | 2,403 |
| 28年度の目標に対する達成状況 | <input checked="" type="checkbox"/> (概ね)達成 <input type="checkbox"/> やや達成できず <input type="checkbox"/> 下回った 平成27年度で目標を達成したが、今後も観光客入込客数を着実に増やすことを目指す。 | | | | | | | | | |

④必要性・有効性の点検

| | |
|---------|---|
| 必要性・有効性 | 尼崎版シティプロモーション推進指針に基づき、今後も交流・活動人口、定住人口増に向けた取組を続けていく必要があり、市内外問わず多くの人に、まちの魅力を戦略的・効果的に発信していく。あまがさき・魅力案内所「あまらぶi+Plus」については、面積が狭小な上、用途に制約もあり、案内業務以外の展開が難しい。また、1日あたり利用者数は前年度と比較して横ばいであり、案内内容も必ずしも魅力の発信につながっていない面があることから、今後の運営について検討していく。 |
|---------|---|

⑤受益と負担の適正化の点検

| | | |
|-----------------|--|---|
| 現在の受益者負担見直しの必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | 観光・集客事業においては、適宜参加者へ実費負担を求めており、今後も必要に応じて受益者負担を求めながら、事業を実施していく。 |
|-----------------|--|---|

⑥他自治体比較

| | |
|---------------|---|
| 他自治体及び国との基準比較 | 阪神間他都市では観光協会が設置されており、観光名所や名産品、グルメスポット等が多数紹介されている。 |
|---------------|---|

⑦担い手の点検

| | | |
|---------|--|--|
| 現状の委託等 | <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 法に基づき市が直接全てを実施すべき業務 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等の余地有 <input type="checkbox"/> 委託等の余地無 | 効果的な情報発信や誘客に係る企画等については、民間事業者のノウハウや対応の柔軟性などを活用する必要があるが、市内の多様な主体との連携や事業の企画・調整については、市の関与が一定必要である。 |
| 委託等の可能性 | | |
| 協働の領域 | 市民の領域 ↔ 行政の領域 A B C D E 現状 将来像 | 内容 現在も一部では各種団体と連携しながら事業を進めているが、将来的にはその範囲や対象をさらに広げていくことを視野に入れる。 |

⑧総合評価

| | | |
|------|----|--|
| 総合評価 | 改善 | 観光・集客事業や出張観光案内所、Webなどによる情報発信については、まちの魅力の増進・発信につながる取組であるが、あまがさき・魅力案内所「あまらぶi+Plus」については課題もあり、今後の運営について検討していく必要がある。 |
|------|----|--|

⑨改善の方向性

| | |
|--------|---|
| 今後の改善策 | あまがさき・魅力案内所「あまらぶi+Plus」を含む「あまらぶインフォメーション事業」については、観光地域づくりの動向や整備される尼崎城の活用などを見据えながら、今後の方向性を検討する。 |
|--------|---|